

# 松江市の文化財・文化遺産 A ～意宇六社をもとに～



8班 鈴木 美緒 中尾 梨笑子 永田 悠  
松原 平 宮廻 裕樹



# はじめに

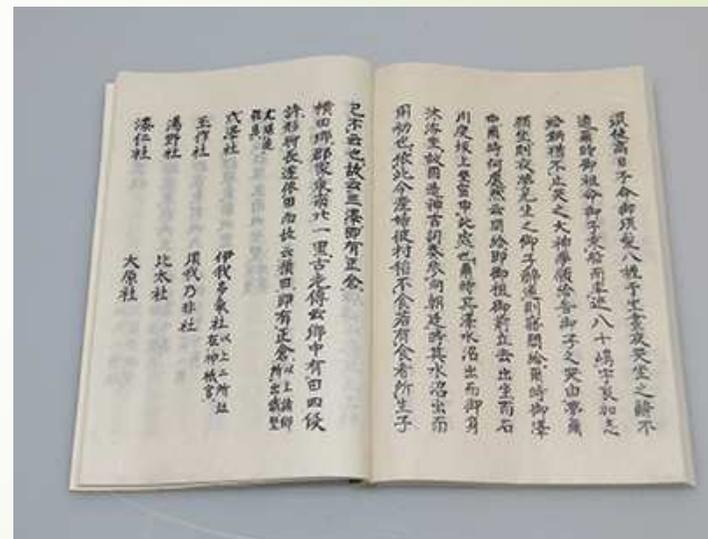
出雲国風土記に記載されている意宇郡は  
当時大きく発展していた郡であり、  
特に多数の文化財がある意宇六社は、松江市の  
文化財を学ぶのにふさわしいと考えた。  
また、現代でも国・県・市がそれらの文化財に  
どのように関わっているか調べていきたい。

# はじめに

## ▶ 出雲国風土記とは？

中央からの命令によって作られた出雲国に関わる風土・産物をまとめた書物。

**実質完全な形で現存しているのは出雲国風土記だけである。**



(<http://tetsunomichi.gr.jp/fascinating-tatara/tatara-in-folklore/>)

# はじめに

出雲国風土記の冒頭部分では、地勢的概要や出雲国名の由来に続けて、**神社の数**が記載されている。(他国の風土記にはあまり見られない)



神社の数が他国の風土記にみられないことから、出雲国が**神社の数を重視**していたことが分かる。

『解説 出雲国風土記』島根県古代文化センター 2014年 を参考



# フィールドワーク

## ～風土記の丘に行きました～

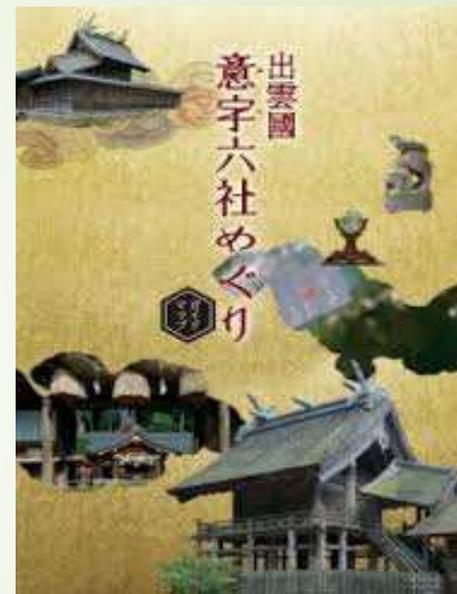


# ～神魂神社にも行きました～



# 意宇六社について

- ➡ 旧意宇郡の東部に鎮座する、**熊野大社・神魂神社・八重垣神社・六所神社・真名井神社・揖夜神社**の六つの神社の総称である。
- ➡ これら六つの神社は**出雲国造家と格別の関係**を持っている。



意宇六社めぐり  
パンフレット

# 意宇六社について

## ■ そもそも意宇とは？

→『出雲国風土記』によると、11郷・33里に余戸1、駅3、神戸3(六里)からなる**出雲国最大の郡**。

→人口はおよそ17200人程度。

## ■ 意宇の由来

→国引き神話において八束水臣津野命が小さかった出雲国に各地から土地を引き寄せ、最後に「**おえ(終え)**」と言った場所であるということから。

『解説 出雲国風土記』島根県古代文化センター 2014年を参考

# 意宇六社について

- ▶ 幕府は1665年(寛文5年)、諸社禰宜神主法度(しよしゃねぎかんぬしはつと)を公布する。
- ▶ しかし、出雲国造家は幕府の統制に反対し、今まで通り自分たちの裁量で取り仕切ることがを求める「言上書」を幕府に提出▶許可を得ることに成功。
- ▶ 朝廷からも聴許され、霊元天皇から「永宣旨」を受け賜わる。
- ▶ 幕府に関係になく出雲国造家の裁許で事が済むという特権を確立する。  
→全国的に出雲国造家は有力であったことが分かる。

# 意宇六社について

- ▶ しかし1697年(元禄10年)、佐陀祀官との確執により、この特権は崩壊した。
- ▶ 1721年(享保6年)、確執が起きてもそれでも六社は国造家の下から離れないようにと竹下権之進、仲彦之進らの上官が説得する。
  - よって六社は出雲国造家と格別の関係  
**「摂社の契約」**を結ぶ。
  - これらの社は一段と密接な関係を結ぶようになる。**

『八雲立つ風土記の丘周辺の文化財』島根県教育委員会 1975年／

『古代出雲の研究』石塚尊俊 1986年 を参考

# 熊野大社

## 概要

日本書紀(720年 養老4年)に初めて登場。  
出雲の国一の宮とあり、

**最も位の高い**神社で、「日本火出初之社」  
とあり火の発祥の神社である。

## 祭神

大熊野神櫛御氣野命、またの名を素戔鳴尊  
という。

## ご利益

厄除け 殖産興業 招福縁結び





## ◎文化財

- ・熊野銅鐸(松江市指定文化財)

全長20センチ 日本最古の様式を持っている。いつ、どこで、誰に作られたかなど多くが謎。

- ・栄螺型兜(松江市指定文化財)

松平直亮によって熊野大社へ寄贈された。

製作者や製造年がはっきりしているため、**文化財的価値**が高い。

[https://www.city.matsue.shimane.jp/jumin/shisei/kouhou/shihou\\_matsue/2003/bunkazai.htm](https://www.city.matsue.shimane.jp/jumin/shisei/kouhou/shihou_matsue/2003/bunkazai.htm)

・和鏡 (松江市指定文化財)

ほとんどが土中から発掘されたり、奉納されたもので、鎌倉時代から室町時代にかけてつくられたもの。

・紙本墨書熊野神社文書  
(島根県指定文化財)

「熊野神社寄進証文」などその時代を知るうえで**重要な史料**となっている。

中でも「無題簽文書」には、足利將軍家をはじめ、豊臣秀吉や徳川家康などの**歴史上有名な武将**の手紙が集められている。



『熊野大社』熊野大社崇敬会 1990年を参考  
<http://www.kumanotaisha.or.jp/shasin/shasin.htm>

# 神魂神社

## <概要>

- 天平5年（733年）の「**出雲国風土記**」に記載されていない。
- 文献上の初見は承元2年（1208年）の「鎌倉將軍下文」。
- 出雲国造が杵築大社に移住後も新国造就任の儀式執行のため、明治初年まで参向する習わしがあった。
- **イザナミ**を主祭神とし、**イザナギ**を合祀する。

# 神魂神社

## ▶ <文化財>

- 神魂神社本殿（国宝）  
→ 現存する**最古の大社造建築物**  
現在の社殿は天正11年  
（1583年）の再建。
- 神魂神社末社貴布祢稻荷両神社  
本殿（重要文化財）  
→ **二間社流造**は類例が少ない。
- 神魂神社文書（県指定文化財）



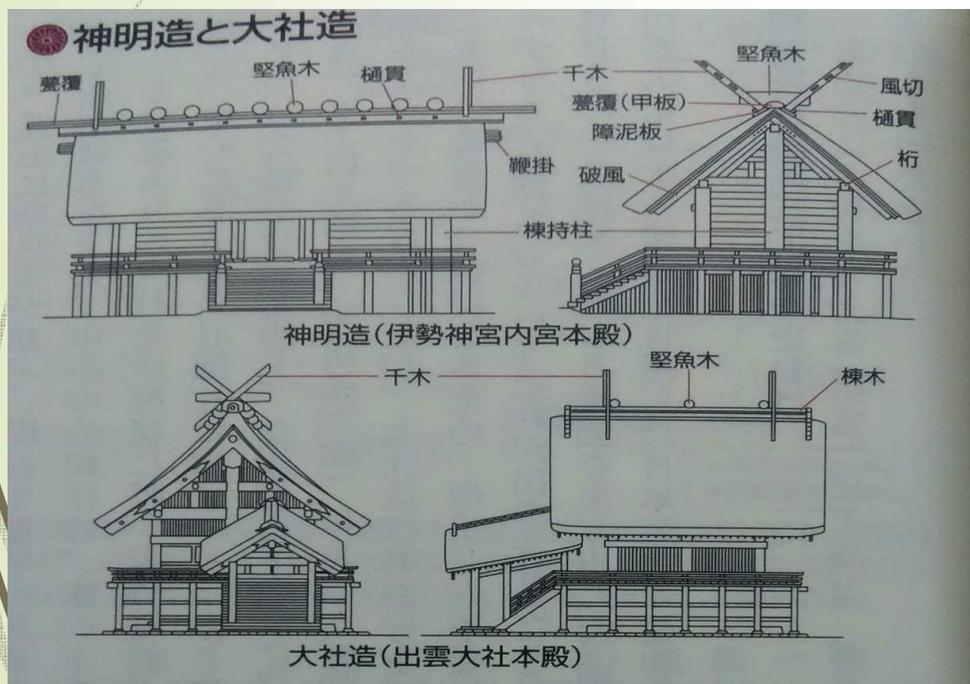
- **大社造**

神殿の屋根の三角形を成す面が正面となる構造。

- **二間社流造**

屋根が反り、曲線形に長く伸びる流造は神社建築に広く普及しているが、正面の柱間が2間であることが珍しい。

左図・・・図説日本人の源流をたどる！伊勢神宮と出雲大社 (2010年) p23より



# 神魂神社

## <御利益>

国家安泰、子孫繁栄、五穀豊穰、家内安全、商売繁盛、厄除け、病気平癒、就職、受験

## <その他>

天穗日命は高天原から釜に乗ってきたとされることから、12月13日には御釜神事（おかましんじ）がある。

右写真・・・古代出雲の研究～神と神を祀るものの消長（1986年）p295より



# 八重垣神社

- 祭神  
素戔嗚尊 稲田姫命
- 合祭神  
大己貴命(=大国主)
- 相殿  
青幡佐久佐日古命  
(スサノオの子とされる)
- 素戔嗚尊と稲田姫命の故事から  
縁結びの神社として知られている。



# 八重垣神社

## 歴史

- 延喜式には『佐久佐神社』と記されている。
- 1868年(明治元)、八重垣神社内に佐久佐社を移し、佐久佐神社として郷社に昇格。
- 1922年(大正11)9月、八重垣神社に改称。県社に昇格する。
- 佐久佐神社は、現在八重垣神社の合祀となっている。



# 八重垣神社

## 文化財について

### 『板絵著色神像』(本殿板壁画)

- ・ 国指定重要文化財 指定年月日 1959年(昭和34)12月18日
- ・ 社伝によると藤原期(893頃)の作品だが、板絵の服装から室町時代の作品だとされている。
- ・ 本殿内の御神体を囲む三方の板壁に描かれていた。  
→現在は宝物殿に保管されている。

(画像引用元 [http://u-wedding.jp/wakon/img/ya\\_03.jpg](http://u-wedding.jp/wakon/img/ya_03.jpg))



# 六所神社

- 創建年代不詳
- 近代社格制度...旧県社
- 御祭神...伊邪那岐命、  
伊邪那美命、天照大神、  
素戔嗚尊、月夜見命、  
大己貴命



(引用文献:大日本神祇疎島根縣支部 1942 『島根縣神社概説』)

[/http://www.simatabi.net/matueroku.html](http://www.simatabi.net/matueroku.html)

# 六所神社

- 本殿→大社造、檜皮葺

- 概要

出雲国総社(＊)

神社北→史跡出雲国府跡

本殿東、境内隣接地

→国庁の正殿の遺跡

＊総社...各所にある神社の祭神を一所に  
勧請し合せ祭る神社の名称。

(引用文献:石塚尊俊 1986 『古代出雲の研究』)



(←[http://www.genbu.net/data/izumo/rokusyo\\_title.htm](http://www.genbu.net/data/izumo/rokusyo_title.htm))



# 六所神社

この社号は、『風土記』や『延喜式』にはない。

「総社」...

出雲国造家に蔵する元久2年(1205)の鎌倉將軍実朝御教に

「出雲国惣社神官等訴申大草郷地頭代官家重狼藉条々事」

「六所」...

享禄3年(1530)の、秋上家文書「定綱(花押)」とした書状に

「六所可為同前候」

# 六所神社

## ○紙本著色勅使代参向図(県指定有形文化財/絵画)

もともとは、六所神社本殿の内壁を飾っていた障壁画。

描かれている祭礼は「御田饌神事」といい、出雲国庁が当地にあったころから続く古伝祭として、古文書・古記録にも

記載され、**当時の祭礼**

**の様子**を知ることのできる

貴重な史料。

(所在地:県立古代出雲歴史博物館)



紙本著色勅使代参向図 (行列図)

# 六所神社

## ○出雲岡田山古墳出土品(重要文化財/考古資料)

昭和58年(1983) X線検査→象嵌銘があることを発見。「各田了臣□□□素□大利□」と判読できる銘文が銀象嵌してある。

→古代の部民制や氏姓制度を解明するうえで

貴重な資料であり、古代日本文化形成期の実態を知るうえで欠かせないものである。

(所在地:県立古代出雲歴史博物館)



(④⑤引用文献:「松江市の指定文化財」編集委員会 2010 『松江市の指定文化財—未来に残す松江の文化遺産250—』)

# 真名井神社

- 祭神  
イザナギノミコト、アマツヒコネノミコト
- 『出雲国風土記』(733年 天平5年)には真名井社とあり、『延喜式』神名帳(927年 延長5年)には真名井神社とある。  
→しかし、中近世にはこの社号がほとんど聞かれず、伊弉諾社と呼ばれていた。  
→古代社会の制度の崩壊(延喜式神名帳の衰退)か、真名井の場所が原因か。
- 明治時代に近代社格制度の制定により、再び真名井の名が戻る。



# 真名井神社

近くの茶臼山の東南麓に真名井の滝と呼ばれる滝が流れている。

→その水は神聖な水として扱われ、出雲国造家の重要な祭事に用いられる。

→伊弉諾社が真名井神社とされたのは、そこが**真名井の滝の水を扱う重要な祭場**であったという可能性もある。



# 真名井神社



- ・ 県指定文化財：真名井神社本殿
- ・ 造営年：1662年(寛文2年)
- ・ 切妻造・妻入りの大社造。
- ・ 梁には竜・牡丹・若葉・鳳凰・唐草等の絵文様がある。
- ・ 内部は一面に仕切りの壁の位置は出雲大社本殿と同じで、外部の様式は神魂神社と似ている。
  - **近世初期(神仏分離以前)の大社造り**としては希少な存在である。
  - **極彩色を用いた装飾**は他の意宇六社には見られず、清楚な大社造りの中では**異色の存在**である。

『八雲立つ風土記の丘周辺の文化財』島根県教育委員会 1975年／

『古代出雲の研究』石塚尊俊 1986年 を参考

# 揖夜神社



- 祭神：イザナミノミコト、オオナムチノミコト、コトシロヌシノミコト、スクナヒコナノミコト
- 出雲大神の宮を除けば、この神社は出雲国内の神社として正史に登場する**最も古い神社**である。
- この神社に狗が**死人**のただむき(肩から手首までの部分)を置いた話がある。
- 古事記(712年 和銅5年)では「**黄泉比良坂**」を「イフヤ坂と謂ふ」とある。  
→イフヤという言葉には**死**が関わっている？ **天子崩御の前兆？**

# 揖夜神社

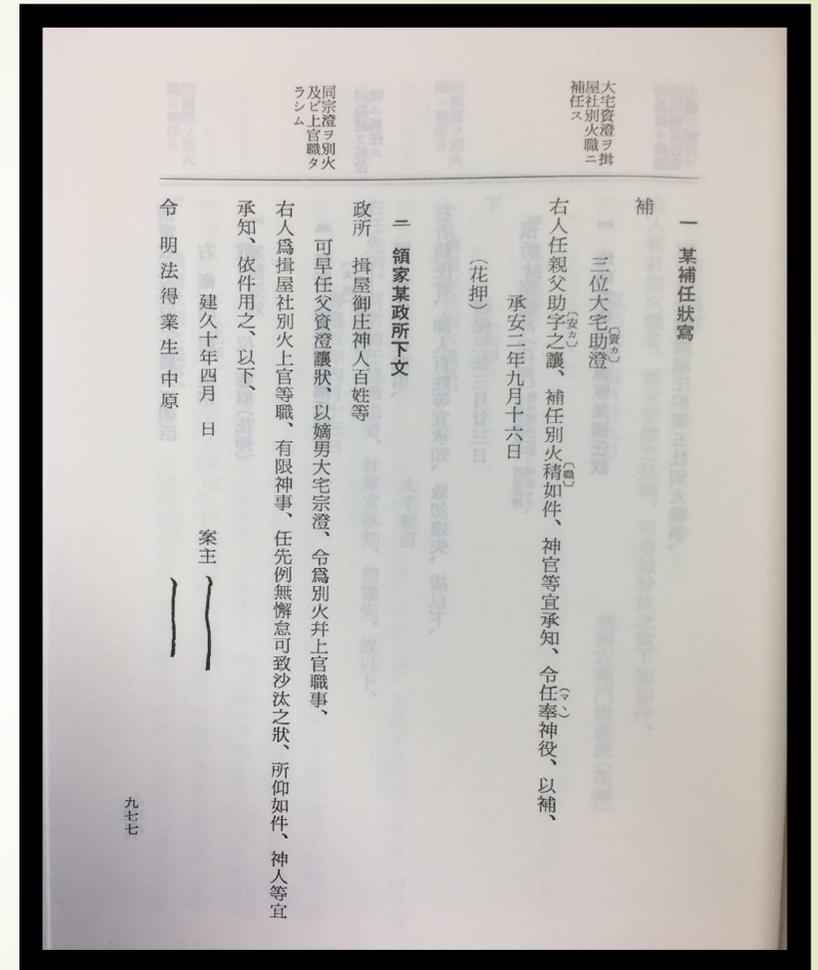


- 古事記より、当社の東方には「黄泉比良坂」の伝承地がある。黄泉比良坂とは、黄泉の国と現世の境界線である。
  - イザナギとイザナミの別れの話で有名である。
- イザナミ命の別れの言葉に「愛しきあがなせの命」という語がある。
  - 愛する**女性の想い**が伝わる。
- 毎年行われる穂掛祭の後に、イザナミ命の神輿を乗せた神船が中海の「一ツ石」に向かう。
  - 地元では一年に一度、**イザナミ命がイザナギ命に逢いに行く祭り**だと伝承されている。

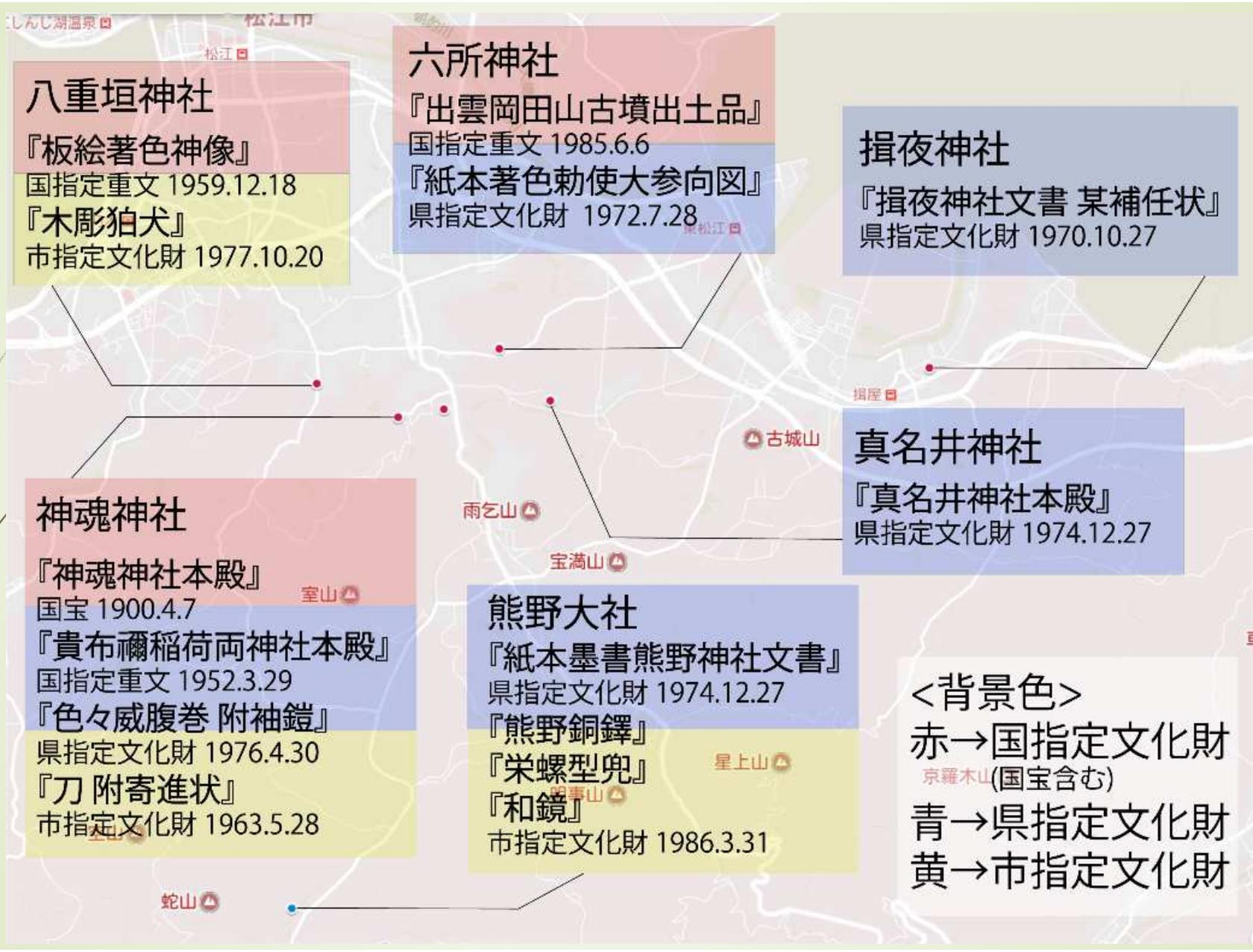
# 揖夜神社

- ・ 県指定文化財：揖夜神社文書
- ・ 鎌倉時代から明治時代のものがある。
- ・ 概略：その地の領家であった大宅氏の別火職補任に関するもの、寄進状など。
  - 別火職として祀職を歴代継承したことが近世まで分かる**重要な史料**
  - 鎌倉時代の史料が存在するのは、**意宇六社唯一**である。

『八雲立つ風土記の丘周辺の文化財』島根県教育委員会 1975年／  
『古代出雲の研究』石塚尊俊 1986年 を参考



写真：『出雲意宇六社文書』島根県教育委員会 2000年より



### 八重垣神社

『板絵著色神像』  
国指定重文 1959.12.18  
『木彫狛犬』  
市指定文化財 1977.10.20

### 六所神社

『出雲岡田山古墳出土品』  
国指定重文 1985.6.6  
『紙本著色勅使大参向図』  
県指定文化財 1972.7.28

### 揖夜神社

『揖夜神社文書 某補任状』  
県指定文化財 1970.10.27

### 神魂神社

『神魂神社本殿』  
国宝 1900.4.7  
『貴布禰稻荷両神社本殿』  
国指定重文 1952.3.29  
『色々威腹巻 附袖鎧』  
県指定文化財 1976.4.30  
『刀 附寄進状』  
市指定文化財 1963.5.28

### 熊野大社

『紙本墨書熊野神社文書』  
県指定文化財 1974.12.27  
『熊野銅鐸』  
『栄螺型兜』  
『和鏡』  
市指定文化財 1986.3.31

### 真名井神社

『真名井神社本殿』  
県指定文化財 1974.12.27

### <背景色>

赤→国指定文化財  
京羅木山(国宝含む)  
青→県指定文化財  
黄→市指定文化財

ます。

### 「茶の湯文化に見られる歴史的風致」

松江の茶の湯文化は、松江藩松平家7代藩主治郷(不昧)の時代に基礎が築かれました。

現在でも不昧公好みの茶室が残り、焼き物や和菓子などの伝統工芸・文化が今なお受け継がれています。



明々庵



楽山焼

### 「宍道湖、佐陀川に見られる歴史的風致」

宍道湖と、江戸時代に松江の町を水害から守るために開削された佐陀川では、美しい景観の中で今もシジミ漁が行われています。



宍道湖

### 「近世山陰道沿線の宿場町に見られる歴史的風致」

宍道町には、近世山陰道沿線に江戸時代に本陣とされた木幡家住宅と、当時の宿場町の町割りが残っています。

毎年6月には蓮華祭の神輿行列が練り歩いて、かつての宿場町の繁栄を偲ばせています。



木幡家住宅



蓮華祭

### 「神在祭と佐陀神能に見られる歴史的風致」

出雲地方では、毎年旧暦の10月が「神在月」とされています。佐太神社では、古式ゆかしく「神在祭」が行われる他、出雲神楽の源流となった佐陀神能が受け継がれ、重要無形民俗文化財に指定されています。さらに平成23年11月に、ユネスコ政府間委員会で無形文化遺産として記載されました。



佐太神社



佐陀神能

### 「堀川に見られる歴史的風致」

松江城の築城時に造られた堀割りは、江戸時代から水運の要として機能していました。

堀端では水運を利用した産業や、人々の生活が営まれ、酒造蔵や染物屋、堀に降りる石段に往時の風情が偲べれます。



染物屋



美保神社

青柴垣神事

諸手船神事

### 「整行列に見られる歴史的風致」

整行列は、正月の左吉兆行事にルーツを持つ伝統行事です。

旧城下町エリアには、33の保存団体があり、毎年秋には伝統的な町並みの中で鑿を叩きながら行列が練り歩いて城下町の風情を伝えています。



### 「ホーランエンヤに見られる歴史的風致」

ホーランエンヤは、城山稲荷神社の御神霊を船で阿太加夜神社へ運ぶ式年神幸祭です。大橋川で練り上げられる権伝馬踊りは、5つの地区で受け継がれ、松江市の文化財(無形民俗文化財)に指定されています。



### 「出雲国府跡周辺に見られる歴史的風致」

『出雲国風土記』に「神名樋野」と記載のある、茶臼山の山麓には、条里制区画が残る田園風景が広がり、出雲国府跡などの遺跡群が保存されています。

また、意宇六社と呼ばれる神社では、出雲国造家に縁のある伝統的な祭礼が受け継がれています。



出雲国府跡

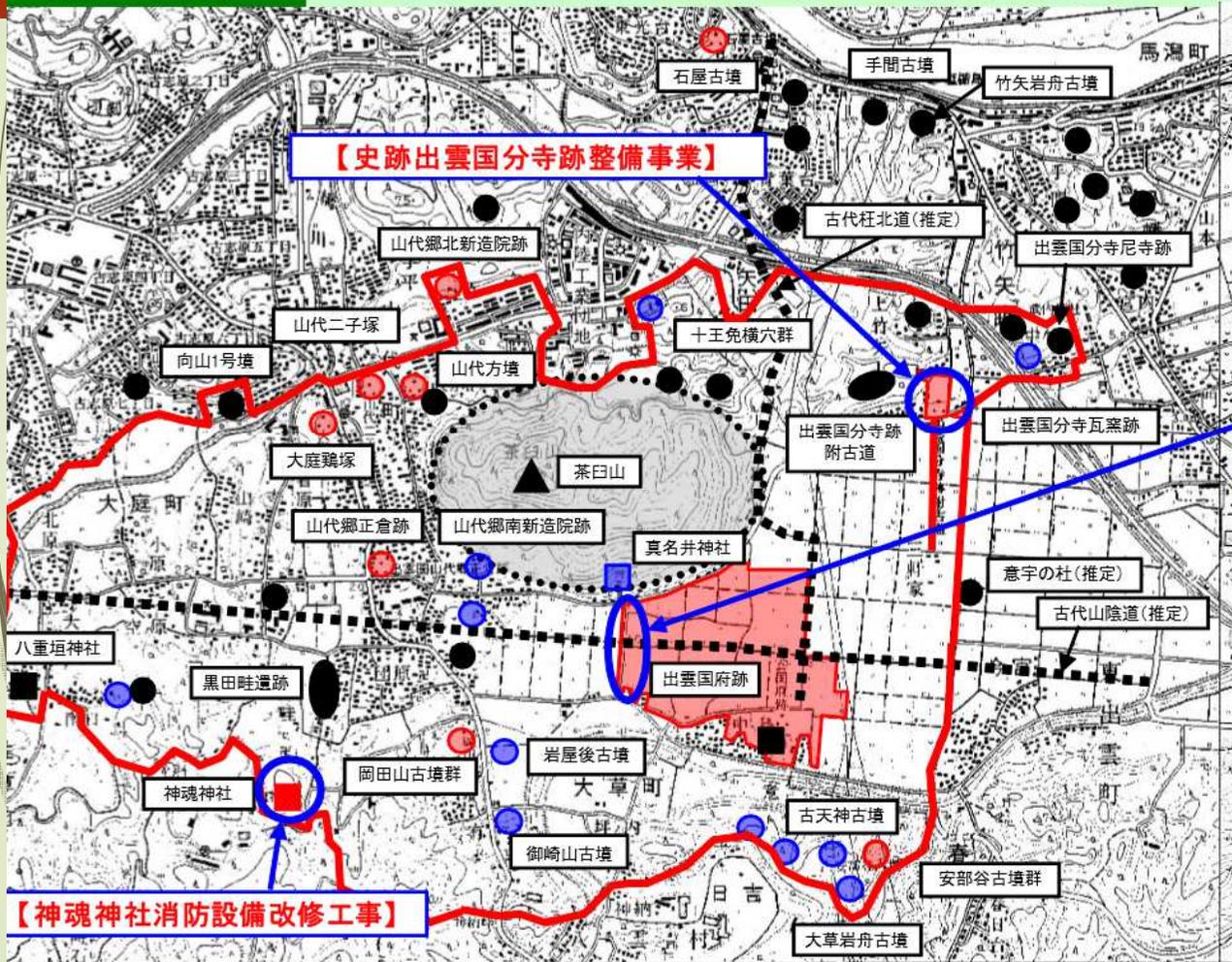


神魂神社



**国府跡周辺エリア**  
(約658.1ha)

古代「出雲」を物語る歴史的建造物や遺跡の保全と、周辺環境の整備、  
おう  
意宇六社等で行われる伝統的な祭礼行事を維持向上させるエリアです。



**【真名井神社線(参道)整備事業】**

真名井神社の参道でもある市道の整備を行い、歴史的景観が向上するとともに、風土記の丘地内のアクセス道としての機能向上が図られました。

**【史跡出雲国分寺跡整備事業】**

史跡出雲国分寺跡の発掘調査を進め、適切な保存整備を行って、歴史的な景観や風情をより向上させます。

- 国宝
- 県指定有形文化財
- 未指定歴史的建築物
- 史跡
- 県指定史跡名勝天然記念物
- 未指定の遺跡
- 重点区域ライン

**【神魂神社防災施設改修事業】**

神魂神社の消防設備を改修し、国宝の本殿を火災から防ぐなど、文化財を保存する環境の向上を図りました。

## まとめ

- 国の文化財に対する関わり
  - 国土交通省による文化財保護のための活動(道路改修工事・防災施設の改善)、補助金による文化財整備。
- 県や市の文化財に対する関わり
  - 主体となって観光のPR(意宇六社巡りなど)、補助金による文化財の整備。

## まとめ

- 文化財のうち、国指定は全国的に珍しいものが見られる傾向にある。
- 重要な文化財はたくさんあると思われるが、国がすべてを管理するのは難しいので、県が主体的に管理しているのではないか。
- 限られた小さな範囲の中で、  
**国・県・市の指定文化財がこれだけ一様に集まっているのはとても珍しい。**  
→出雲国府が存在していたことが大きいのでは？

# 参考文献

- 『八雲立つ風土記の丘周辺の文化財』 1975年 島根県教育委員会
- 「松江市の指定文化財」編集委員会 2010 『松江市の指定文化財—未来に残す松江の文化遺産250—』
- 『熊野大社』 1990年 熊野大社崇敬会
- 『古代出雲の研究』 1986年 石塚尊俊
- 『解説 出雲国風土記』 2014年 島根県古代文化センター
- 『出雲国の源流から』 2011年 八雲立つ風土記の丘
- 『こども出雲国風土記』 1994年 山陰中央新報社
- 『山陰の祭祀伝承』 1997年 石塚尊俊
- 『出雲国造火継ぎ神事の研究』 1988年 平井直房
- 『島根縣神社概説』 1942年 大日本神祇會島根縣支部
- 『神々と出会う旅』 2015年 山陰の神々刊行会
- 『日本史用語集』 2014年 山川出版社
- 『文化財データベース』 文化庁 <http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai>
- 『松江市の維持向上すべき歴史的風致』 国土交通省 <http://www.mlit.go.jp/common/000227837.pdf>

ありがとうございました！

